初めてでも安心！様々な要望に応えるスマートコンストラクション

今こそ勉強の成果を！
初めてのＩＣＴ活用工事

■■現場詳細■■
熊本県熊本市南区
緑川莎崎地区（1工区）築堤工事
現道の横に盛土し、将来はその盛土部分を通行帯にする第一段階の堤防嵩上工事
【法面整形】3,000m²
【施工土量】盛土6,500m³
【ソリューション】
Everyday Drone
ｽﾏｰﾄｺﾝｽﾄﾗｸｼｮﾝｱﾌﾟﾘ
【ＩＣＴ建機】PC200i/D37PXi
■■導入経緯■■
三州建設(株)
工事部 監理技術者 宮本大志さん
今回は、施工者希望Ⅱ型のＩＣＴ活用工事でした。当社はi-Construction型工事を施工したことがなかったのですが、以前よりコマツIoTセンタ 九州や各所で開催される講習会に参加しＩＣＴ活用工事について勉強していました。初めてのＩＣＴ施工が難易度の高い現場では不安があったため、今回は盛土の現場で作業工程がシンプルだということと、従来のダンプの台数管理だけでは、盛土のボリュームがはっきりとは分からないためEveryday Droneで進捗管理をしてみたいと思い、スマートコンストラクションの導入を決めました。

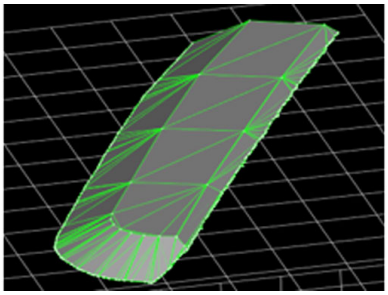
工事部 監理技術者
宮本大志さん

工事部 現場代理人 長郷空さん

熊本県
三州建設(株) 様

【社是】
蔵の財より身の財すぐれたり
身の財より心の財第一なり
作業安全

掲載月:2020年9月

段切りも
ＩＣＴブルドーザで！

■■導入効果■■
三州建設(株)
工事部 監理技術者 宮本大志さん
この現場では、D37PXiを面白い使い方で施工をしました。従来は、法面整形を行う前に油圧ショベルで段切りをしますが、発注者より降雨などで段切り面が崩れるかもしれないと聞き、盛土の巻き出しに合わせて、下から層ごとに上がっていくよう指示がありました。そこで、いっそのことD37PXiで段切りができないかと営業担当者に相談し、3次元設計データを使って、段切りの部分をブルドーザの巻き出しの断層に合わせてブレードで掘削するという新しいやり方を試してみました。これにより、法面の養生などが不要となり、施工の流れで段切りできたことに感動しました。Everyday Droneは操作がかなり簡単で、進捗管理にとても役立ちました。ＩＣＴ活用工事では準備段階で手間がかかりますが、施工が開始されると丁張り不要で手元作業員も少なくて良いので、安全・現場管理ともに楽になりました。最初は躊躇するかもしれませんが、一歩踏み出せば変わりゆく現場を実感できると思います。